

令和4年度

第2回 江別市上下水道事業運営検討委員会 書面協議結果

○日程

令和5年1月25日（水）

○参加委員（10人）

木村克輝委員長、桶谷洋幸副委員長、梶川浩二委員、小原徳久委員、古川淳子委員、中田香委員、米谷勝行委員、河村純子委員、野村祥二委員、武田陽子委員

○議事

（1）報告事項

- ①水道メータ地上化の進ちょく状況と検針・収納方法について
- ②上下水道ビジョンの改定（中間見直し）について
- ③令和5年度予算要求案の概要について

(1) 報告事項

①水道メータ地上化の進ちょく状況と検針・収納方法について

番号	委員名	ご意見・ご質問	ご意見・ご質問に対する回答
1	小原委員	検針・収納方法については、コスト面に重点を置いて決定すべきと思いました（2か月検針・2か月請求）。	検針・収納方法につきましては、2か月検針・2か月請求がコスト面では有利であると認識しております。 一方、2か月請求となった場合、1回当たりの納付額が倍増することとなり、使用者の負担感が増すことが懸念されます。 いずれにいたしましても、検針・収納方法につきましては、コスト面のみならず、お客様サービスや持続性なども含め、総合的に検討してまいりたいと考えております。
2	小原委員	使用量がデータで判る様なシステムができると良いと思いました。	「使用量の見える化」は、お客様サービスの向上や経営効率化に繋がることから、他市の取組を研究してまいりたいと考えております。

②上下水道ビジョンの改定（中間見直し）について

番号	委員名	ご意見・ご質問	ご意見・ご質問に対する回答
1	木村委員長	予算要求案内容とも関連しますが、今後はビジョン策定時よりも一層脱炭素化や SDGs 達成を指向した上下水道運営が求められると思います。 この時代潮流に整合した改定となることを期待します。	江別市では、上下水道施設を含む公共施設を対象に再生可能エネルギー導入調査を実施しております。 江別市上下水道ビジョンに記載の環境負荷低減の取組と合わせまして、温室効果ガス排出量の更なる抑制を目指してまいります。 また、ご意見をいただいた脱炭素化や SDGs（持続可能な開発目標）に係る取組は、上位計画である第7次江別市総合計画にも掲げている事項で

			あることから、ビジョンの中間見直しに当たっても整合した内容となるよう検討を進めます。
2	野村委員	浄水場・浄化センター更新について具体的な検討事項をお示し下さい。	<p>【上江別浄水場】 上江別浄水場は昭和 50 年度(1975 年度)に建設しており、更新は 75 年が経過する令和 33 年度(2051 年度)を目標としています。 更新には多額な費用が見込まれる一方、将来的には人口減少により給水量の低下が見込まれるため、より一層のコスト縮減を図るとともに、長期的な視点に立って慎重かつ計画的に更新する必要があります。 引き続き給水量を観察し、更新時の給水量に応じた施設規模とするほか、浄水処理の水質を確保するための手法について調査・研究を行ってまいります。</p> <p>【浄化センター】 浄化センターについては、延命化を図りながら可能な限り長く使用することを目標としております。 施設の劣化状況を調査しながら更新時の水需要を予測し、適切な更新時期・施設規模を検討します。</p>

③令和5年度予算要求案の概要について

番号	委員名	ご意見・ご質問	ご意見・ご質問に対する回答
1	木村委員長	<p>動力費、特に下水道での動力費増を心配します。今後も動力費の高騰が見込まれるのではないのでしょうか。</p> <p>対応できる予算要求案として頂きたいと思えます。</p>	<p>下水道の動力費は主に浄化センターやポンプ場の電気料金です。</p> <p>下水処理は汚水の分解過程で大量の電気を使用するため、維持管理費全体に占める動力費の割合は水道より高く、動力費の増加は経営に大きな影響を与えます。</p> <p>今後も物価上昇や電気料金の値上げが見込まれておりますが、当該施設は河川放流水の水質基準を満たすためには止めることのできない施設であるため、負担増は避けられないと考えております。</p> <p>令和5年度予算案の編成に当たっては、動力費を含む維持管理費の増加に対応するため、事業のより効果的かつ効率的な実施を検討するとともに経費の精査に努めた結果、前年度比減となるものの一定程度の純利益を確保できる見込みとなりました。</p> <p>今後も一層の経営努力を重ね、健全経営を維持できるよう努めたいと考えております。</p>

2	桶谷副委員長	<p>物価高・電気料金の値上げ・最低賃金上昇により、動力費や受託工事費等が上昇しています。</p> <p>今後も物価高・電気料金の値上げ・最低賃金上昇は続くことが予想されます。</p> <p>中長期計画を再度見直し、工事の見通し、水道料金の値上げといった課題を検討することが重要かと思えます。</p>	<p>令和5年度予算案では、有収水量の減少により収入が減少する一方で、支出は物価高騰や労務単価の上昇等により増加しているため、上下水道事業ともに前年度と比べ純利益が減少する見込みですが、いずれも一定程度の資金を確保しているため、直ちに事業運営に支障をきたすことはありません。</p> <p>※令和3年度末・資金残高</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業 約1,498百万円 ・下水道事業 約904百万円 <p>物価高騰がいつまで続くのか、先行きが見えない状況ですが、まずは様々な取組により事業運営の効率化を図るなど一層の経営努力を重ね、健全経営を維持してまいりたいと考えております。</p> <p>中長期的な計画の見直し、課題の検討につきましては、令和5年度に上下水道ビジョンの改定（中間見直し）を予定しており、この中でビジョン後半5年間（令和6年度～10年度）の投資・財政計画を見直し、課題への対応を検討します。</p> <p>改定案の作成に当たりましては、上下水道事業の現状と将来、財政収支見通し等について検討するとともに、経営の見える化など、できるだけ分かりやすい内容としたいと考えております。</p> <p>また、本年8月に開催を予定している当委員会に改定版素案をお示しし、ご意見をいただきたいと考えております。</p>
---	--------	--	--